第２回千葉市新基本計画審議会　議事要旨

１　日　　時　　令和３年１０月２８日（木）１５時３０分～１６時４５分

２　場　　所　　ＴＫＰガーデンシティ千葉　３階　「シンフォニア」
千葉市中央区問屋町１－４５

３　参 加 者　　≪委員≫３２名（五十音順）
秋田 典子委員、秋元 裕子委員、浅野 幸子委員、石河 勲委員、市田 誠委員、
市橋 民子委員、岩崎 久美子委員、梅澤 孝之委員、江波戸 正子委員、大森 康雄委員、
小川 順子委員、柿沼 靖委員、加藤 康幸委員、鏑木 憲子委員、菊地 端夫委員、
近藤 利砂委員、斉藤 浩司委員、島田 利美委員、仙波 慶子委員、添田 智恵委員、
髙梨 園子委員、高山 功一委員、角田 愛子委員、轟 朝幸委員、長岡 正明委員、
中島 陽一委員、成田 智子委員、林 曉甫委員、細田 美和子委員、松永 哲也委員、
和田 勝紀委員、渡部 茂樹委員
（欠席者　倉阪 秀史委員、斎藤 博明委員、貞広 斎子委員、下河原 忠道委員、
鈴木 雅之委員、森川 博之委員、若狭 健委員、渡邉 真由委員）
≪事務局≫１３名
峯村総務局長、山田総務局次長、神﨑総合政策局長、米満財政局長、竹本都市局次長、
藤代中央区長、折原花見川区長、宍倉稲毛区長、齊木若葉区長、小池緑区長、
曽我辺美浜区長、堺総合政策部長、濤岡政策企画課長

４　議　　題
（１）千葉市基本計画（原案）総論について
（２）その他

５　議事概要
（１）千葉市基本計画（原案）総論について
・第１回千葉市新基本計画審議会における意見（総論第１章～第３章）への対応の方向性について、事務局より説明を行った。
・総論第４章～第５章の概要及び委員からの事前意見について、事務局より説明を行った。
（２）その他
・今後の開催スケジュールについて、事務局より説明を行った。
・事前意見の提出及び議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

６　会議経過

～以下、議事要旨～

議題（１）千葉市基本計画（原案）総論について
（事務局）第１回千葉市新基本計画審議会における意見（総論第１章～第３章）への対応の方向性について、資料１をもとに、事務局より説明を行った。
特に意見なし。
（事務局）総論第４章～第５章の概要及び委員からの事前意見について、千葉市基本計画（原案）の概要資料及び資料２－１・２－２をもとに、事務局より説明を行った。
＜意見交換＞

高山委員　区の魅力について記載を充実しては如何でしょうか。

例えば、若葉区では動物公園、稲毛区であれば県のスポーツセンターなど素晴らしいものがあります。また、美浜区では、磯の松原は日本の白砂青松百選にも選ばれており、その謂れや歴史、中央区では、千葉市の起源が亥鼻城であることなど、もう少し市民にアピールしても良いと思います。また、いなげの浜では、レッドブル・エアレースが開催されたことや、今後の浜辺の活用についても記載することを検討していただければと思います。千葉市にはまだまだ沢山良いところがあるので、ぜひアピールしていってください。

松永委員　原案 P. 43「未来技術の実証フィールドとして、自動運転モビリティの導入による回遊性の向上や賑わいの創出に取り組むなど、時代の先端に挑戦しています。」について、現状評価だけをしていますが、ここは、「挑戦しており、また挑戦していきます」という決意表明でなければいけないと思います。

また、同ページの「市内各エリアの特性を活かしながら産業の活性化を不断に図る」について、産業の活性化を不断に図ることは、当たり前に実施することであり、戦略的視点４の内容と合っていないと思います。「既存産業の発展や新産業の集積を図る」としては如何でしょうか。

秋田委員　概要資料 P. 24「成熟社会を豊かにする時代を担うひとづくりと文化・スポーツのまちづくりの推進」について、文化に含まれていると思いますが、これからの１０年間は、芸術が重要になると思いますので、「文化芸術・スポーツ」と、芸術という言葉を追加していただければと思います。

また、P. 26 のみどりについて、イメージ図では山林と田園が一緒になっていますが、山林と田園では維持管理等の方法や残し方も異なるため、可能であれば区分していただければと思います。

市田委員　原案 P. 40「みんなが輝く　都市と自然が織りなす・ちばし」について、みんなが輝く理由も記載されていますが、なぜ輝くかを考えると、成長・学びであると思います。稲毛区に文教という言葉がありましたが、稲毛区だけではなく、千葉市全体が文教都市であると思っています。千葉大学をはじめ工業高校が２校あり、また渋谷幕張など世界に通じるような有名な学校もあります。文教都市であることをもっとアピールして、子どもから大人まで全員が学べる・成長できる・だからみんなが輝くということを強調して欲しいです。以前、市長も科学都市であるということを仰っていましたが、そういった部分をアピールしていただければと思います。

林委員　原案 P. 31「まちづくりを進める力」について、今後の文化芸術というのは、単に表現されたものを人々が鑑賞する・つくるだけではなく、その行為を育んでいくこと自体が、地域の新しい関係性を構築していくのではないかと思います。例えば、国籍の違った方との交流機会をつくるなど、役割の違う形で必要とされていくことについて、文化を考える上での一つのポイントになるかと思います。

同時に、みんなで進めるまちづくりという言葉は、非常に聞こえは良いですが、誰が当事者で、誰が責任を持ってやっていくかが曖昧になってしまうところ

があるかと思います。例えば、今後テクノロジーが発展し、道路の陥没等を市民がすぐに報告でき、それに対して補修を図ることができるなど、一人ひとりが何らかの形で当事者意識を持ち、まちづくりに具体的にかかわっていく。そして自分の一声や行動が、小さくても良いので着実にまちを変化させていくことができるということが見えても良いかなと思います。特にこれからの人口減少や居住者の国籍の多様化という状況において、一人ひとり個性を持った市民が、この場所をつくっていくという意識づけが重要になるかと思います。

松永委員　原案P.43「地域の枠を超えてゆるやかに連携・協力していく」について、積極的にやらないという誤解を招くため、「ゆるやかに」は削除したほうが良いと思います。

また、P.46「千葉市型コンパクト・プラス・ネットワークが実現されたまちの姿」について、戦略的視点１の災害に強い安全・安心なまちづくりに触れられていないため、「地域の特性に応じた多様な働き方や住まい方を支える環境が確立」の前に、「災害にも強く」という文言を追加しては如何でしょうか。

轟会長　確かに、目指すべき都市構造に、安全・安心の部分が見えてこないところがあるため、どこかに加えていただければと思います。

石河委員　P.43「房総の大自然や山の幸・海の幸など、多彩な魅力を活かす」について、この上の行までは、ちば共創都市圏における千葉市の役割が記載されていますが、この部分だけ千葉市の周辺も含めた地域のことが書かれているように捉えられ、どちらのことを言っているのか、ぼやけてしまう感じがします。

渡部委員　概要資料P.24の戦略的視点から、その次の目指すべき都市構造について、関連性がよく分からないところがあります。例えば、先ほどご指摘の「災害に強い」や「地域経済」などは、目指すべき都市構造の方に入ってきておりません。第４章まちづくりの基本方針の中で、戦略的視点と目指すべき都市構造の関連性がもう少しわかりやすい方が良いと思います。

轟会長　概要資料P.28「公共交通や次世代交通、通信技術によりつながり」について、この通信技術は、現在、ＤＸやデジタルツインといったものでネットワーク化され、現実のネットワーク以上に重要になってきていると思っています。そうしたものに挑戦する都市として、ここのネットワークに組み入れることを検討していただければと思います。

梅澤委員　千葉市に関わる皆さんに見ていただく視点に立つと、難しい言葉が色々出てくるように感じます。先ほどご指摘の戦略的視点からその将来像の繋がりが分かりにくいと感じること、また概要資料P.30の各区の特徴についても、戦略的視点のどこに繋がるかが紐づくと、全体的に分かりやすくなると思います。目指すべき都市構造のみどり・しごと・くらしに何が紐づいていくか説明があると、千葉市の強みが何かわかりやすいように思います。

堺総合政策部長　石河委員からのご指摘、原案P.43のちば共創都市圏に関する記載については、大自然など千葉市以外の都市の魅力も含め、ポストコロナにおける多様な働き方やライフスタイルなど新たな価値観を圏域として提示することで、これまでの取組みよりも広げた形での価値向上を目指す意味合いで掲げています。

高山委員からのご指摘、区の特性・魅力のＰＲについては、記載の充実ができるか検討します。また、この１０年間の計画で位置付けるもの、あるいはその時期により市民・市外の方も含めてＰＲしていくものなど、多様な手段で実施していきます。

松永委員からのご指摘をはじめ、経済・安全安心・ネットワークなど、記載内容の整合が取れていない点や紐づけが薄いといった点については、今一度、事務局の方で繋がりを見直し、どういった形で分かりやすくできるか検討します。

文化芸術に関するご指摘については、原案本編には記載もありましたが、概要版として纏める中で打ち出しが弱くなっているところもあるため、記載を検討します。

事務局で整理した表現について、十分に思いが伝わっていない箇所が多々あったと思いますので、対応を検討します。

髙梨委員　原案P.42「多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり」について、インクルーシブというと、暮らしやすさや人々の繋がり、すべての人々が安全安心、訪れて楽しめるまちづくりを進めるといった解釈をしていますが、その中で、安心して過ごせる環境の整備などスマートシティ的な部分も加えていただければと思います。

戦略的視点のところでは難しいかもしれませんが、例えば日本橋では、大手不動産会社が関わってインクルーシブなまちづくりを進めているなど、そうした先進的な事例を学んだうえで、具体策を練り上げて加えていただければ動きが早くなるかと思います。

轟会長　インクルーシブという言葉は、一般の方には伝わりにくく、色々な解釈ができてしまう可能性もあるため、少し言葉を補足する必要があるかもしれません。

また、スマートシティについては、具体的なものに繋がる部分を項目出しできれば良いと思います。

濤岡政策企画課長　インクルーシブについて、確かに分かりにくい部分があるかと思います。安全安心など他の文言も含め、実際に見ていただくのは市民の方のため、市民の方が一緒にやっていきたいと思えるよう、分かりやすい表現を考えていきます。

議題（２）その他

（事務局）今後の開催スケジュール、事前意見の提出及び議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

特に意見なし。

―閉会―